

学校図書館支援センター通信 NO.71 11月号

平成25年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



学校図書館では読書イベントがいっぱい！

秋の読書週間を迎え、学校図書館では読書の日常化を目指して様々なイベントが行われています。今年のスローガンは「本と旅する本を旅する」です。毎日、学校図書館に足を運んでいる子どもたちが、読書イベントを通して新しい図書と出会い、その世界を旅していることと思います。今回は、図書だけでなく様々な分野とのコラボレーションした取り組みをお知らせします。

10月24日 富貴島小学校



まだ1つ
たまごのままだよ！

作家講演会 『木村 研 さん』

富貴島小学校では、木村 研さん（児童文学作家・手作りおもちゃ研究家）をお招きして、作家講演会が行われました。

999ひきのきょうだいシリーズにまつわるエピソードや海外でのお話、挿絵に隠されている秘密などを子どもたちに語りかけながら、楽しくお話してくださいました。遊ぶことの大切さやそこから生まれる想像力、推察力が、生きる力に繋がっていくというお話の中で、おもちゃは子どもが遊ぶための道具だから、おもちゃ作りに失敗はないとおっしゃっていました。木村さんの手の中にあるカエル（2枚の紙皿に切込みを入れたもの）の口から現れたたくさんのおたまじゃくしに、子どもだけでなく先生方もくぎ付けになっていました。



木村さんのお話をきっかけに、読むだけでなく「読んで作って楽しむ」読書の世界へも旅する子どもたちが増えるのではないかと思います。



10月26日 北方小学校



北方小に来たかった！
子どもの作品 閲覧中

北方コンサート『中川 ひろたか さん』

北方小学校は創立40周年記念行事に、中川 ひろたかさん（ミュージシャン、絵本作家）をスペシャルゲストに迎えて、北方コンサートを開催しました。

第一部は、学年別の合奏・合唱、先生方の出し物でした。審査員の中川さんから「一生懸命に練習して、歌い演奏している姿が素晴らしく、感動しました」というコメントをいただきました。第二部は、中川さんのミニコンサートで、「世界中のこどもたちが」や「にじ」など、誰もが一度は歌ったことのある曲の演奏に、思わず口ずさんでしまいました。「ケサランパサラン」「なんじゃもんじゃにんじゃ」では、保護者や来賓も一緒に体を動かして、会場が一つになりました。「だじゃれどうぶつえん他」の読み聞かせでは、体育館中にみんなの笑顔がこぼれました。北方小の子どもたちもおきのだじゃれを考えて、中川さんに送りました。「届けよう輝く未来へメロディーを」という北方小の今年のテーマが、音楽と図書とだじゃれの融合によって、子どもたちの心の中にしっかりと刻まれ、未来への初めの一歩となりました。



図書館の窓から ～ひろげよう・図書館の輪・リレー執筆～

本校の図書委員会は、現在18名で活動しています。今年の読書週間では、「お気に入りの本をさがそう」をテーマに、影絵やブラックライトシアターの上演、読書クイズなどのほかにテーマにあわせて全校で本の紹介をし合ったり、音読集会で群読に挑戦したりと、新しい活動に取り組みます。

このほかにも各学級での読み聞かせや「百人一首をたのしもう」の会など様々な活動があり、1年があっという間に過ぎていきそうです。

このような取り組みを通して、本校の読書活動がさらに活発になっていくことを願っています。

市川市立百合台小学校 学校図書館員 武田祐子



ブラックシアター上演中

研究協力校授業研究会 10/30 新井小学校



新井小学校では、5年生の国語「大造じいさんとがん」の学習から「ライブラリーナビを作ろう～椋嶋十さんの作品を読もう～」の授業が行われました。（ライブラリーナビとは、図書館利用者の手のひらに収まる、じゃばら折り紙の情報ナビゲーターです。）

学校図書館やネットワーク便で集めた椋嶋十作品を授業と並行して読んだり、中心人物の心の変容をアニメーション等を取り入れて整理したりしながら学習を進め、そのまとめとして、椋嶋十に関するライブラリーナビ作りを行いました。①あらすじ②心に残った場面③登場人物紹介④椋嶋十の作品紹介⑤オリジナルページの5つの内容を図書や、インターネットを活用してまとめました。出来上がった作品は、学校図書館内に作られる予定の「椋嶋十コーナー」に展示されることになっているので、みな素敵な作品にしようと一生懸命に取り組んでいました。



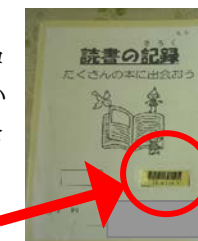
また、11月は「読書フェスティバル」が開催され、約1か月にわたって図書委員会考えた読み聞かせや図書紹介、図書クイズ等が行われます。先生方やボランティアの方々による読み聞かせもあり、楽しいイベントがたくさん企画されています。

【読書記録と貸出カードを1つにまとめて！】

新井小学校では、読書の記録の表紙に図書貸出用のバーコードが貼ってあり、読書記録と貸出カードが1つになっています。これによって、読書後の記録忘れを防ぐことが出来ます。みなさんの学校でも試してみたいはいかがでしょうか。※この部分に、図書貸出用のバーコードが貼ってあります。



図書委員の図書紹介



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

